



うるわしく みだれ咲く 花よ コスモス 朝きぼうの 露うけて
タベ安けき 法をきく みてらの庭の 花よコスモス
やさしき花よ あかるき花よ 花よ コスモス 「コスモスの花」より



お彼岸の一日、無量寿会の例会です。丸橋会長より、出かけること、皆さんと顔を合わせること、語ること、がいいでいいになります。お参りさせていただいて、仏花を見るということもとてもいいでいいだと気づかさせていただきました。これからも、まず出かけることから始めてみましょうとのお話をいただきました。秋の歌よりの法話、井関さんの頭と体の体操をしました。



運動会代休、"秋 お寺に行こうが" もたれました。お参りして、ゲーム大会。昼食は牛乳パックでのホットドッグ、午後から頭の運動会、トランプ、カルタ、オセロ大会です。そして、みんなでお団子作り。里芋、カボチャ、などを生地にして、練って、捏ねて、丸めて、ゆでて、冷まして、みたらしの餡をかけて出来上がり。おうちの方へのお土産も出来ました。



札幌は、秋咲のコルムチカが一斉に咲きだしました。さて、妻の実姉の旦那さんが、危篤との報が入り、早速にお見舞いに伺うことを約しました。私の父は、十二人兄弟姉妹の長男で本家、妻は十人兄弟姉妹の末っ子です。現在は、叔父叔母、妻の兄、姉、皆さんが七十歳以上の方々です。ところで、その叔父叔母、兄弟姉妹が元気で居る時には、「私は死ぬ時にはボツクリと往きたい」と言う、「子ども達に迷惑をかけたくない」と言うのが本音の様だ。しかし体調を崩して入院し、お見舞いに駆けつける時、べつに眠る本人の意思とかけ離れたその扱いに、どこか違和感を覚えます。長生きをして欲しい、息子、娘ならそう思い願うその気持ちには強いものがあります。その気持ちをくみ取った医師の処置で、その状態に在ると思う時に、わが身に置き換えて考えた時に、何か複雑な気持ちになります。それから数か月後、葬儀がありました。その心を書き留めました。



吉井正行さんより「世界で一番貧しい大統領のスピーチ」を紹介。この本は絵本にもなっていますが、大人にも是非聞いて頂きたい話です。しあわせとは、豊かさとは、物質にあふれた世の中だけではない。貧しい人とは、少ししか物を持っていない人ではない。発展すること生命の大切さを、ムヒカ大統領のスピーチをお話し下さいました。



高橋さんが吉井さんの話を受けて、以前高田光胤さんの講話で、世界中のあらゆる動物が「どうすれば生き物が平和に、幸せい暮らせるようになるのか」との話し合いで、サミットが持たれた。その結果人間が居なくなることとなったそうだ。共生という心が大切だと教わった。との紹介をしてくださいました。

庫裡にて茶話会を持ちながら今後の行事等話し合われました。

1月10日(日)ご本山御正忌報恩講に参拝します。



北海道 大島義勝さん



花 コルムチカ

老衰死

平成二十七年九月十八日曇り後雨

■ 穏やかに最期を迎える

最近とみに、そう思う

叔父叔母を訪ねて、長期入院を聞く
お見舞いに、管を付けた叔父叔母
只眠るだけの、長期入院

■ つい最近まで元気だった

あの叔父叔母が入院だ

そう云えば幾つに成ったのだろうか
何時も気にして居なかつた歳の数
それにしても只眠るだけ

■ 知的で物分りの良い叔父

男勝りで働き者の叔母

いずれも父の妹（三女）と弟（四男）
つい最近まで元気に居たのを観てる
つい最近は、何年前5年？

■ 死ぬときは、ぼつくりと 笑顔で話す叔父と叔母

元気な時は、老衰死を望んだはずが
親族、病院側が延命を選択する
望むと望まない老衰死

平和なる 澄し美空に 望め月
濁りたる 心洗れ 今日の月
咲きたりと 風が告げたり 金木犀



鰯雲 大手広げて 深呼吸
群がりて 妖しき赫の 曼珠沙華
テレビ消し しばし心を 虫の音に

落合登代子

うらうらと 墓碑に影ゆく 赤トンボ
群がりて 妖しき赫の 曼珠沙華
テレビ消し しばし心を 虫の音に

札幌市
大島光子
さん

千灯あれど
われを待つ灯は一つ

東井義男



「無有代者」



「無有代者」=「無量寿經」
人生の苦惱は「代わること無し」。換言すれば、みんな掛け替えのないいのち。

天高く馬肥ゆる秋、仲秋の季節。恵みの秋、食欲の秋、運動の秋、読書の秋、あなたはどんな秋を過ごされますか？おっと、大切な秋を忘れていてはいけません。「閏法の秋」、心豊かに生きる事、わが身を映し出してくださる法の鏡に遇わせていただきます。朝晩ひんやりとする日もあります。くれぐれも大事にて。お念仏ご相続。



「無有代者」=「無量寿經」
人生の苦惱は「代わること無し」。換言すれば、みんな掛け替えのないいのち。